



全自動食器洗機準備配線・配管設備図

型式 DU850SWP

電気	ガス	給水	給湯	排水
○			○	○

- 電気設備
 - ・電源プラグ・電線は定格125V、12A、1.25mm²以上のキャブタイケーブル(コード)を使用してください。
 - ・15Aアース端子付専用コンセントを使用してください。アース線は1.25mm²以上のものを使用し、D種接地工事を行ってください。

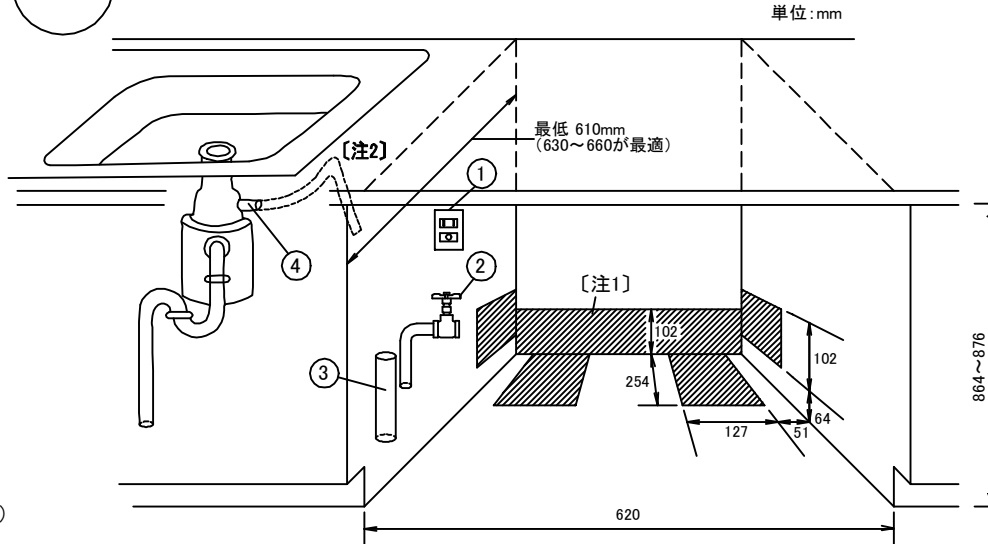
- 給湯設備
 - ・ $\frac{1}{2}$ " (15A) ストップバルブ止め配管(バルブ先端メスジ)
 - ・瞬間湯沸器使用の場合は下記の条件を備えている13号以上が必要です。
 - 給湯圧力: 0.14~0.82MPa
 - 給湯量: 6.5L/min以上
 - 給湯温度: 49°C~66°C
 - (貯湯式湯沸器の場合も同条件が必要です。)

- 排水設備
 - ・排水ホースは本体に1.9m長付属されております。
 - ・ $1\frac{1}{4}$ " (32A) ~ $1\frac{1}{2}$ " (40A) φ配水管(硬質塩ビ管、鉄管)
 - ・排水管立ち上り寸法は床面から508mm以上

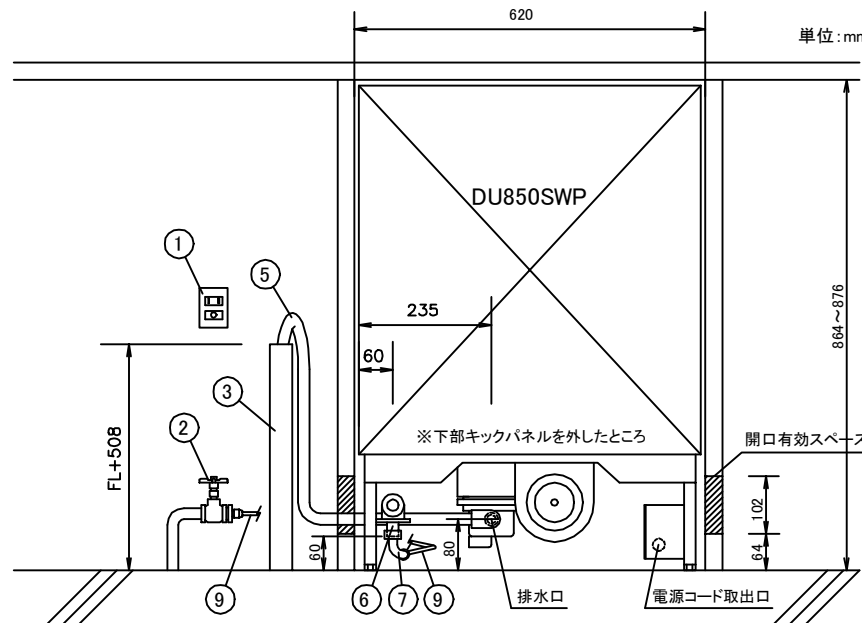
- 備考
 - ・電気コンセント、給湯バルブは本体の左右どちらかのキャビネット内に設置してください。
 - ・ディスポーザーの排水接続口へ排水ホースを接続する場合は、「逆流防止」のため排水ホースの1箇所を必ずディスポーザーの天端(シンクフランジ)より高く立ち上げてください。

ご注意
 冬季凍結の恐れのない場所に据付けてください。
 凍結の恐れのある場所に止むを得ず据付ける場合は、断熱材やヒーター追加等凍結防止対策を施してください。また、水抜きも行ってください。

設置例 キャビネット内に配線・配管を設備する場合

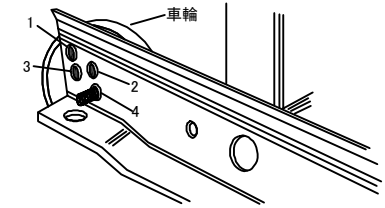


[注1] 斜線部有効スペース。斜線部以外の位置に機器を配置すると本体に干渉する可能性があります。配管工事、電気工事をする際は注意してください。
 [注2] ディスポーザーの排水接続口へ排水ホースを接続する場合には、「逆流防止」のため排水ホースの1箇所を必ずディスポーザーの天端(シンクフランジ)より高く立ち上げてください。



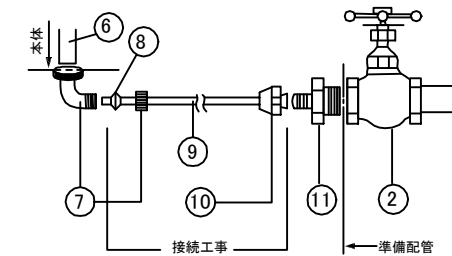
■後部車輪の高さ調節

キャビネットの高さに従い、後部車輪の取付位置を調整してください。前脚は後部車輪の高さに合わせて本体が水平になるように調整してください。



キャビネット高さ	車輪取付位置
864mm	1
867mm	2
872mm	3
876mm	4

■給湯管接続



No.	部品名	個数	
①	15Aアース端子付専用コンセント	1	準備設備
②	$\frac{1}{2}$ " (15A) ストップバルブ	1	
③	$1\frac{1}{4}$ " (32A) ~ $1\frac{1}{2}$ " (40A) φ配水管	1	
④	ディスポーザー直結排水管接続口	1	
⑤	排水ホース 外形32mm 1.9m	1	同梱部品
⑥	$\frac{3}{4}$ " オスネジ 給湯口	1	本体
⑦	$\frac{3}{8}$ " エルボー	1	同梱部品
⑧	$\frac{3}{8}$ " そろばん玉	1	
⑨	$\frac{3}{8}$ " 銅パイプ	1	準備設備
⑩	$\frac{3}{8}$ " フレアナット	1	
⑪	$\frac{3}{8}$ " × $\frac{1}{2}$ " ハフユニオン	1	
備考	③排水管立ち上り寸法は床面から508mm ⑤ディスポーザーへ接続する場合は1箇所ディスポーザー天端(シンクフランジ)より高く立ち上げて下さい。		

★ 全自動食器洗機仕様及び寸法は「全自動食器洗機・外形寸法図」を参照ください。